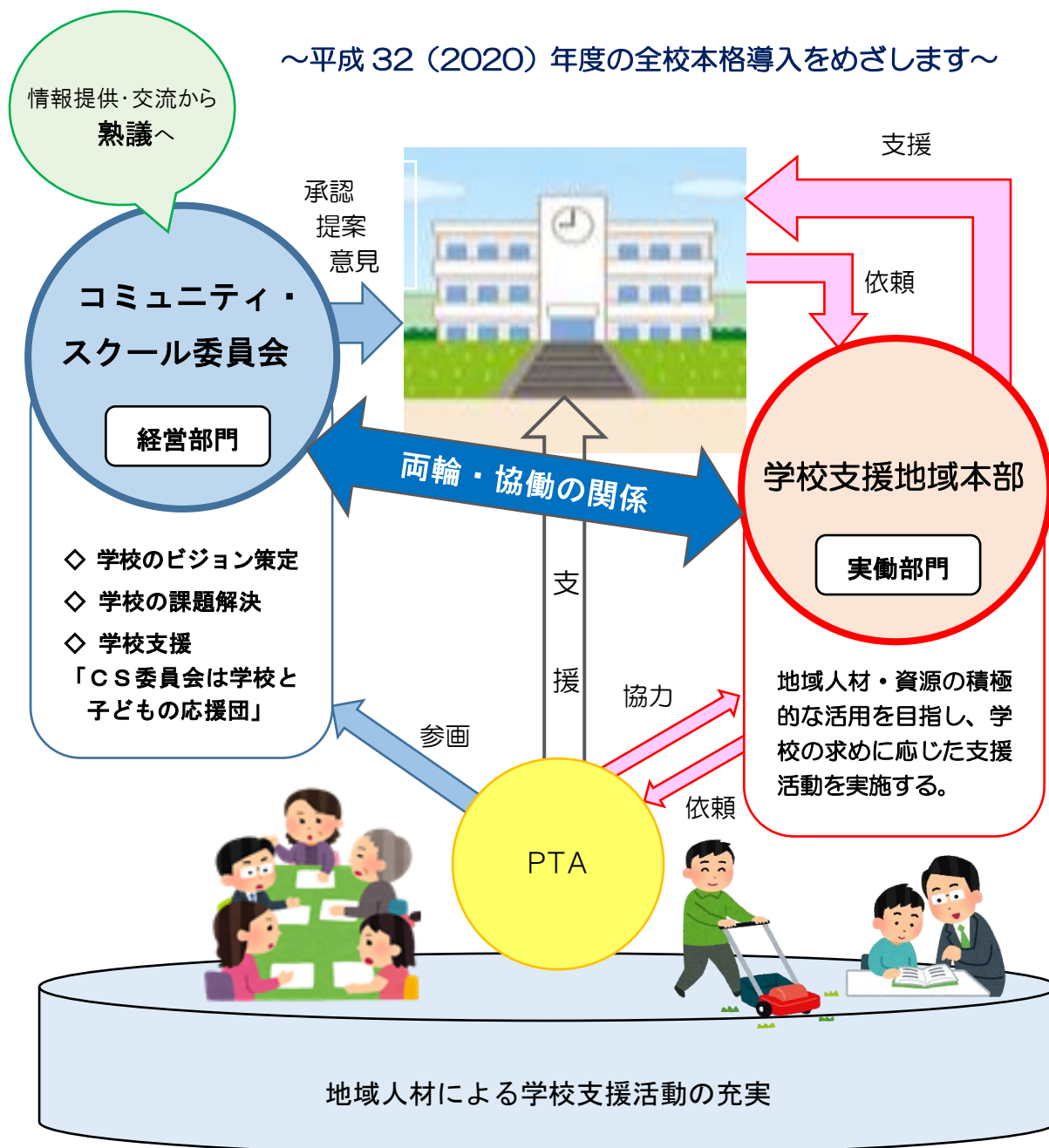


“今”と“これから”をつなぐ

板橋区コミュニティ・スクール(iCS)

「コミュニティ・スクール委員会」と「学校支援地域本部」をつなぐ

～平成32(2020)年度の全校本格導入をめざします～



「板橋区コミュニティ・スクール(iCS)」は、学校・家庭・地域が一体となって、よりよい教育の実現に取り組むため、法に基づくコミュニティ・スクール委員会(学校運営協議会)と、学校支援地域本部を「両輪・協働」の関係で運営し、教育活動を支援する仕組みです。

1 板橋区コミュニティ・スクール（iCS）を導入する目的

地域の大人と学校の職員が本音で語り合い

地域の宝である子どもたちを 誰一人排除しないで みんなで育み
すべての子どもの安心できる学びの居場所を

地域の学校につくることにある

その結果として、

学校に集いし地域の大人が 互いのつながりを強め 地域に戻り

地域のために協働し 地域コミュニティを活性化することにある

2 板橋区コミュニティ・スクールの導入に合わせて

区内の区立全小中学校にコミュニティ・スクール委員会（CS委員会）を設置します。

そのために！

お住まいの地域の学校（校長先生）から、委員会の委員になって欲しいと依頼があった場合は、委員を引き受けてください。難しい場合は、これからの地域を担う人材として適当な方をご紹介ください。そして、未来を担う子どもたちにとってよりよい教育を行うための工夫やどんな地域活動を行っていったら良いか等を学校のスタッフとしてお話ししてください。

具体的には

教育活動を充実するため
に、学校と地域と一緒に
やれることは何だろう！

【効果】学校が必要と思っていること（校内の子どもの見守り、登下校時の安全に関する声かけ等）と地域が支援できることが明確になり、具体的な取組（交代で休み時間の見守りや校内清掃に協力する。下校時に合わせて夕飯の買い物をするなどで、子どもたちへの声かけができる等）を行うことができるようになります。

今までは地域だけで行っていた防災訓練を学校と一緒にやったらどうだろう！

【効果】地域・学校・保護者が防災について共通理解を図ることにより、大規模な災害等が発生した際の初動体制を含め、被害を最小限に食い止めることができます。役割分担を行うことにより避難所の運営もスムーズにできます。特に中学生は、昼間大人の手が足りない地域の中で、高齢者・子ども・要支援者への支援等を行う立場となり活躍が期待できます。

3 今後の予定

2019年度	2020年度のiCS導入に向けて、区内区立の全小中学校にコミュニティ・スクール推進委員会を設置し準備を行います。委員は15名程度です。
2020年度	全小中学校にコミュニティ・スクール委員会（法定）を設置し、本格的な取組を開始します。